

# 1 道路網計画策定の目的と位置付け

## (1) 策定の目的

東京都と調布市を含む28市町は、都市計画道路を計画的、効率的に整備するため、共に連携して概ね10年間で優先的に整備すべき路線を定めた「事業化計画」を過去3回にわたり策定し、事業の推進に努めてきました。

また、生活道路については、地区の日常的な交通を受け持ち幹線道路網と一体的に機能する生活道路網の構築を目指し、昭和61年3月に「調布市生活道路網整備計画」を策定し、整備を進めてきました。その後、平成6年3月に計画を改定し、最近では平成25年5月に計画の修正を行っています。

このように、調布市では長い年月をかけて道路整備を進めてきましたが、都市計画道路の整備率は多摩地域の平均と比べ低い水準となっており、生活道路についても、約7割が未整備となっています。

このような状況の中、現行の「多摩地域における都市計画道路の整備方針（第三次事業化計画）」の計画期間が平成27年度で終了することや、生活道路の計画的な整備・事業効果の早期発現が求められていることなどから、昨今の社会経済状況の変化や周辺基盤整備の進捗により、時代に応じた道路計画を構築する必要が生じてきました。

また、都市計画道路と生活道路は、これまでそれぞれの計画に基づき、個別に整備を進めてきましたが、都市計画道路と生活道路を体系的、機能的に連携した道路網として形成していくためには、双方の道路をバランスよく整備していくことが重要であると考え、現在の都市計画道路と生活道路の計画を一体的に検討し、調布市を取り巻く状況等に対応した「調布市道路網計画」を策定することとしました。

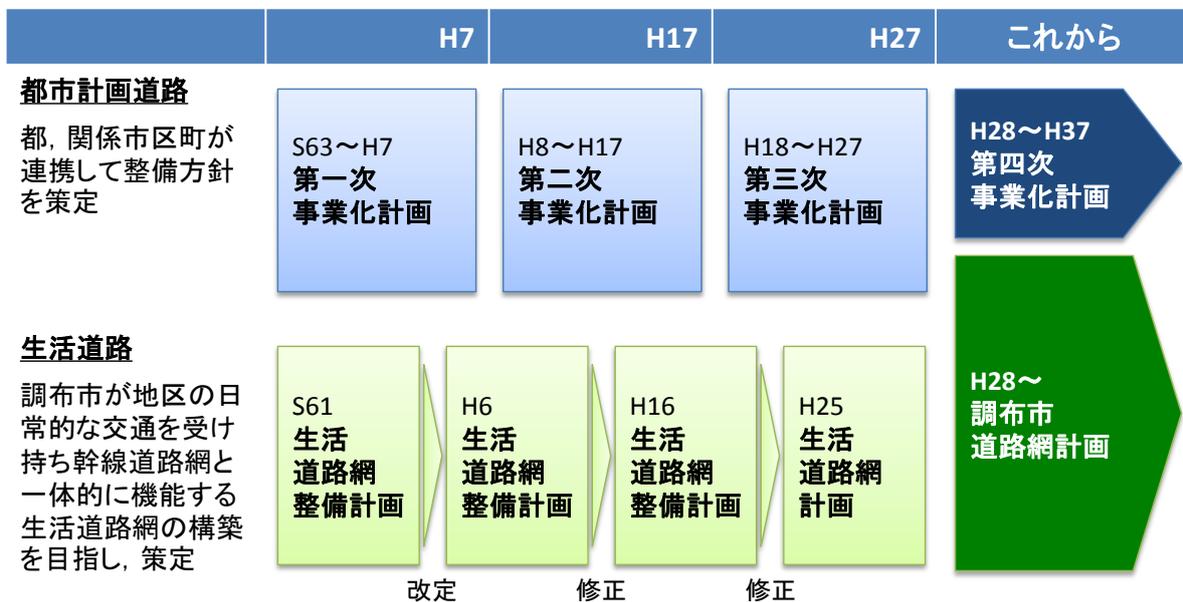


図 調布市における都市計画道路、生活道路の計画の変遷

## (2)道路網計画の位置付け

道路網計画は、都市計画（まちづくり）分野において、調布市の最上位計画である「調布市都市計画マスタープラン」に掲げる将来都市像の実現に向けた関連計画のひとつとして策定するものです。

なお、東京都と28市町及び特別区では、「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」の検討を行っており、道路網計画はこの計画と整合を図ることとしました。

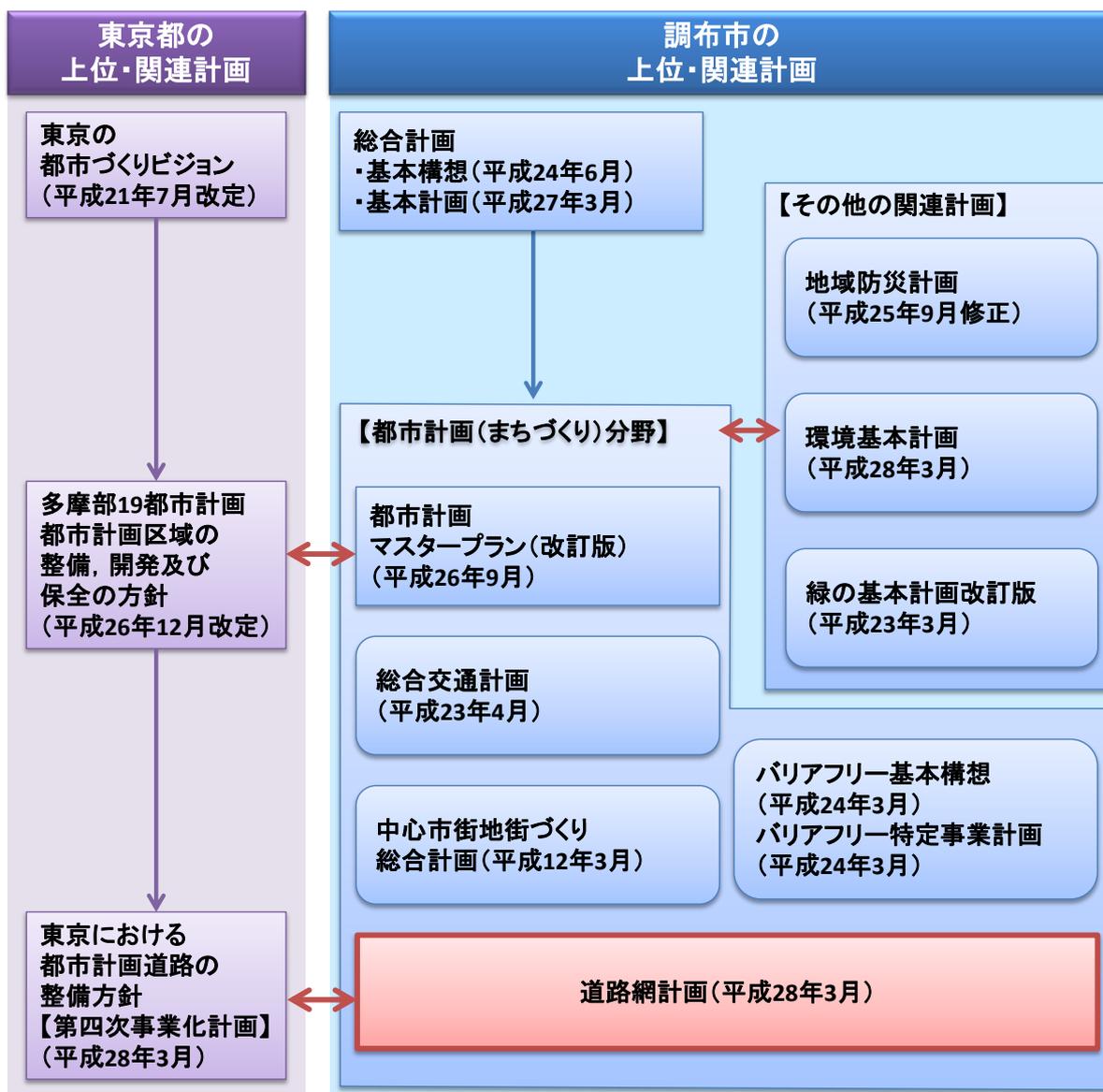


図 道路網計画の位置付け